



ご家庭で余っている食品をお持ちください

拠点回収でのフードドライブ事業を試行実施します

フードドライブとは、もらいものなどで家庭で余っている食品を集め、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。

市では、回収した食品をNPO団体を通じて、児童養護施設等の福祉施設に届けるとともに、食品ロスを削減します。

昨年度は、市民まつりのイベントとしてこのフードドライブ事業を試行実施し、缶詰、レトルト食品、乾麺等13kgが集まりました。今年度はこれを一歩進めて、定期的な食品の拠点回収を行います。

引き続き、市民の皆さんのご協力をお願いします。

時毎月第2火曜日午後2時～3時30分（祝日を除く）

所リサイクル事業所前（中町3-19-16）

※燃やすごみ等の無料回収ではありませんので、該当でないものの回収はしません。その場合、お持ち帰りいただきます。下記の回収できる食品であることをよく確認して、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、雨天の場合は食品が濡れることを避けるため、できる限り次の回にお持ちください。



回収できる食品を確認してきてね！

集める食品の条件

- ▷賞味期限が明記されていて、期限が1か月以上先のもの
- ▷包装や外装が破損していないもの
- ▷未開封のもの
- ▷包装や外装を他のものに移し替えていないもの
- ▷常温で保存可能なもの

回収できる食品

- ・お米 ・缶詰
- ・インスタント、レトルト食品（カップ麺、カレーなど）
- ・乾物（パスタ、そうめん、うどん、そばなど）
- ・お菓子
- ・調味料（食用油、しょうゆ、みそ、砂糖など）
- ・飲料（ペットボトル飲料、缶ジュースなど）
- ・嗜好品（コーヒー、お茶パックなど）
- ・フリーズドライ食品 ・乳幼児食品
- ・ギフトパック（お中元、お歳暮等贈答品の余りなど）



回収できない食品

- ・肉や野菜などの生鮮食品
- ・冷蔵・冷凍食品
- ・びん詰め食品
- ・精米日から2年以上経過したお米
- ・アルコール飲料
- ・医薬品（ただし、栄養補助、健康補助、栄養調整、特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品は回収できません）



くるくま大作戦 くるくるカメくんの1日 ～くらしの中のごみ減量～

日々の生活の中にも、ごみ減量のポイントはたくさん潜んでいます。ごみをできるだけ出さないライフスタイルのヒントとして、くるくるカメくんの1日をご紹介します。みなさんも、できることから取り組んでみてください。



くるくまくんの朝は、家の周りのお掃除から始まります。
「ワケナイーンが空き缶をポイ捨てしていたから、声をかけて資源ごみとして出しておしてもらったよ！」



大事に使っていたおもちゃが壊れてしまったので、おもちゃびょういんで置いてもらいました。
「これでまだまだ遊べるね。」



友だちが引っ越しているフリーマーケットのお手伝いに来ました。
「自分では着なくなった服も、また次の人に着てもらえるよ。」



今日のごはんのお買い物に行く前に、冷蔵庫の中を確認します。
「お買い物リストを作れば、買いすぎることもなくなるね。」



お買い物の途中で、お隣さんとこつカメちゃんに会いました。
「マイバッグを持っていけば、お気に入りの袋でお買い物ができるし、レジ袋もいらないんだよ。」



お料理開始です。野菜の葉っぱや茎も「土」すれば、おいしく食べてごみ減量ができます。
「作ったごはんはもちろん残さず食べたよ！」



寝る前に、明日のごみ出しの準備をします。
「明日は古紙の回収日。はがきや包装紙、ティッシュの空き箱はざつがみとして出すことができるよ。」